



コンバインは刈り取り機と脱穀機を組み合わせた大型の機械です。そのコンバインの鑑定試験見学会が、東村新利根

△ コンバイン見学記 ▽
今後の農業は機械化で省力

△ コンバイン見学記 ▽

○コンバインの長所
作業がきわめて能率的なので、日本でも各地でコンバインが使用されるようになった。作業量は、その土地の気象条件、水利慣行、栽培品種、耕地の面積、農作業の慣行、前後作、成熟期などにより、多少の差はあるが、小型機で一日に一ヘクタール、大型機で二ヘクタールの刈り取り（イネ・ムギ類）と同時に脱穀ができる。したがって労力不足でも労賃が年々上昇している昨今きわめて魅力的である。

○コンバインの短所
かなりのロス（穀粒損失）が見受けられ、倒伏したイネはさらにロスが多くでる。購入価格が高い。

耕地の面積がせまいと充分に実力を発揮することができない。したがって基盤整備が必要である。

○むすび
前記の短所について研究改良され、それが解決した時は、農作業（ことに収穫の面）は、いちじるしく省力されることであろう。

【写真はコンバインによる収穫 9月13日撮影】

とねまちプレイバック

昭和40年10月に発行された「広報とね」に、コンバインの鑑定試験見学会が行われた、という記事が掲載されていました。

「今後の農業は機械化で省力」と見出しにあるように、昭和40年代から全国的に農業の機械化が大幅に進み、農作業にかかる時間が減少したそうです。

それまで当たり前だった手作業による稲刈りも、今では貴重な風景になりました。



大平野生植物園では、昔ながらの方法で米作りをしています。令和4年9月12日の稲刈りの様子

人口と世帯（令和4年9月1日現在）

総人口	15,452人	(- 42)
男性	7,630人	(- 22)
女性	7,822人	(- 20)
世帯数	7,072世帯	(- 27)

() 内は前月比

【10月の納税等】※納期限および口座振替日は10月31日です。

町県民税	：3期	国民健康保険税	：4期
後期高齢者医療保険料	：4期	介護保険料	：4期

ハロウィンジャンボ

5億円

ラッキー・ハロウィン!

5千万円

同時発売

9月21日(水)

発売期間 9月21日(水)～10月21日(金)
抽せん日 10月28日(金)

各1枚 300円

★この宝くじの収益金は市町村の明るいまちづくりや環境対策、高齢化対策など地域住民の福祉向上のために使われます。
★宝くじは、ぜひ茨城県内でご購入願います。

宝くじに関するお問合せ / 0570-01-1192 [宝くじコールセンター]
公益財団法人 茨城県市町村振興協会